

2022年度トライアル期間環境経営レポート



活動期間(トライアル期間) : 2023年3月1日～2023年5月31日

発行日 : 2023年09月1日

株式会社日本グリーン企画
代表取締役 武蔵憲二

組織の概要

事業者名:株式会社日本グリーン企画

代表取締役: 武蔵憲二

本社所在地: 埼玉県深谷市人見479-4

東京支店所在地: 東京都新宿区西新宿3丁目6番5号
トーカー新宿キャステール908号

設立: 1979年11月1日

資本金: 2,600万円

従業員数: 約51名

延べ床面積 1183m²

事業の概要 造園・土木工事、公園等の維持管理を中心とした総合建設業及び、人材派遣業

認証対象範囲 全組織・全活動

連絡担当者: SDGs推進室(石出)

環境経営方針

基本理念

株式会社日本グリーン企画は、地球環境の保全と改善に向けての取り組みを、積極的、継続的に行います。本業である造園土木業を通じ、社会インフラ整備への貢献、省エネの推進、働きやすい環境の整備など、事業の維持管理・運営を確実に行います。そして、より環境にやさしく、より良い企業活動を社員一体となって取り組んで参ります。また、国際社会の共通課題である気候変動問題にも貢献します。

行動指針

当社は、造園土木等の事業活動を行う上で、基本理念の実現に向け、環境問題への負荷を低減し自然と共存できる社会責任を果たすことを重要な経営課題として位置付け、次のとおり、環境負荷の継続的な改善を図ります。

1. 当社の経営理念

我々に所属する全ての人々はより良い生活環境と正当な利潤を得る為献身的に協力し合い人間形成と秩序を守り生活の安定と社会貢献に努める

2. 事業活動に伴う環境負荷の低減を目的として、次の取組みを行います。

- (1) 二酸化炭素排出量の削減
- (2) 廃棄物排出量の削減
- (3) 水使用量の削減
- (4) 当社の事業活動に関する環境配慮を推進します。

3. エコアクション21への取組みにより継続的な改善を図ります。

4. 事業活動において関係する環境関連法規等を遵守します。

5. 環境保全関連の機関・団体などの環境保全施策に協力すると共に地域社会における環境保全活動に参加し、地域社会貢献活動を推進します。

6. 環境教育を実施して、全ての従業員に環境経営方針、環境経営計画及び環境経営目標を周知徹底するとともに、環境保全の認識の向上を図ります。

7. 環境経営方針は公開します。

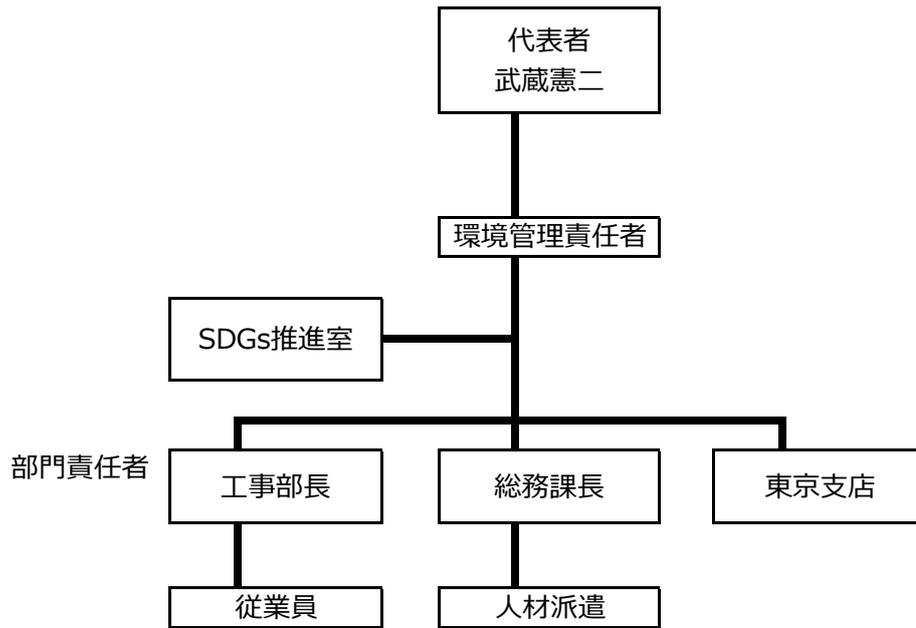
制定日 2023年3月1日

株式会社日本グリーン企画
代表取締役会長 武蔵憲二

<改訂記録>

版	改訂日	改訂内容・改訂理由
1	2023. 03. 01	初版作成
2	2023. 11. 06	組織の概要、実施体制図修正

実施体制図



実施体制(役割、責任、権限)

役割 役職	責任及び権限
代表者	1. 経営における課題とチャンスを整理し明確にする 2. 環境経営方針の策定及び従業員への周知 3. 環境管理責任者の任命 4. 環境経営資源の確保 5. 全体の取組状況の評価と見直し・指示 6. 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	1. EA21活動全般の構築・運用 2. 環境経営目標・環境活動計画の承認 3. 取組状況の把握・評価 4. 代表者の指示の関連部署への実施指示 5. EA21の実施状況を経営者へ報告
SDGs推進室	1. EA21活動全般の推進 2. 環境負荷の自己チェック、取組の自己チェックの実施 3. 環境活動目標・計画の原案の作成 4. 環境活動実績集計 5. 環境関連法規取りまとめ表の作成、遵法評価の実施 6. 環境経営レポートの作成、公開 7. EA21文書類の保管・管理
部門責任者	1. 自部門の環境目標、環境実行計画の策定・実施 2. 苦情、要望等の把握、報告、対応の実施 3. 緊急事態対応訓練の実施 4. 是正・予防措置の実施 5. 自部門の活動計画の実施及び達成状況の報告 6. 代表者による改善事項指示の実施
従業員	1. 環境経営目標・活動計画のうち自部門に関する者の実施 2. 各手順書により定められた事項の実施

環境経営目標（トライアル期間）

目標項目		単位	基準値 2022/03～2022/05	△削減率/ 増加率	トライアル期間 2023/03～ 2023/05
C O 2 排 出 関 連	電力使用量削減	k W h	14,623	△ 1.0%	14,477
	ガソリン使用量削減	ℓ	7,055	△ 1.0%	6,984
	軽油使用量削減	ℓ	7,667	△ 1.0%	7,590
温室効果ガス排出量 の削減		k g	42,869	△ 1.0%	42,440
廃 棄 物 関 連	一般廃棄物	k g	120	△ 1.0%	119
	産業廃棄物	k g	1,257	△ 1.0%	1,245
水使用量の削減		%	327	△ 1.0%	324
化学物質使用量の適正管理		%	該当なし		
環境配慮サービスの取組み (地域清掃活動等)		件	1	水準維持	1

注1) 電力のCO₂換算係数：(株)エネワンでんき 2022年実績 0.407kg-CO₂/kWh

環境経営目標（中長期）

目標項目	単位	基準値 2022年度 (2022/04~ 2023/03)	目標値	2023年度	中長期の目標			
			削減率/ 増加率		2024年度	2025年度	2026年度	
C O 2 排 出 関 連	電力使用量削減	k W h	45,654	目標値	45,426	45,197	44,741	44,284
				削減率	0.5%	1.0%	2.0%	3.0%
	ガソリン使用量削減	ℓ	28,384	目標値	28,242	28,100	27,816	27,532
				削減率	0.5%	1.0%	2.0%	3.0%
	軽油使用量削減	ℓ	32,552	目標値	32,389	32,226	31,901	31,575
				削減率	0.5%	1.0%	2.0%	3.0%
温室効果ガス排出量の削減		181,421	目標値	180,514	179,607	177,793	175,978	
			削減率	0.5%	1.0%	2.0%	3.0%	
廃 棄 物 関 連	一般廃棄物	k g	480	目標値	478	475	470	466
				削減率	0.5%	1.0%	2.0%	3.0%
	産業廃棄物	k g	1,257	目標値	1,251	1,245	1,232	1,220
				削減率	0.5%	1.0%	2.0%	3.0%
水使用量の削減		Ton	788	目標値	792	796	804	812
				削減率	0.5%	1.0%	2.0%	3.0%
化学物質使用量の適正管理		該当なし	目標値	適正管理に努める				
			削減率	-	-	-	-	
環境配慮サービスの取組み (地域清掃活動)		回	4	目標値	4	4	4	4
				増加率	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持

注1) 電力のCO2換算係数：(株)エネワンでんき 2022年実績 0.407kg-CO2 / k W h

環境活動計画と実績（トライアル期間）、次年度の取組み

対象期間

2023年03月から2023年05月

活動項目	単位	達成状況		評価	結果と次年度の取組み	
		目標	実績			
二酸化炭素 排出量の削減	電力使用量の削減 ・照明のLED化 ・不要な照明の消灯 ・エアコン温度設定 ・OA機器の省エネ設定	Kwh	14,477	9,119	○	目標達成 ・引き続き、エアコン適正温度の設定、 不要な照明の消灯に努める。
	ガソリン使用量の削減 ・エコドライブ10の実施 ・ルートの検討 ・燃費確認の実施 ・ハイブリッド車の導入	ℓ	6,984	7,026	×	目標未達成 ・引き続きエコドライブ10を実施し、 燃料使用量の削減に努める。
	軽油使用量の削減 ・現場重機のアイドリングストップ の実施 ・低燃費車両の導入	ℓ	7,590	8,766	×	目標未達成 ・上記と同様に引き続きエコドライブ 10の推進を計ります。
	二酸化炭素排出量の削減	k g	42,440	43,455	×	目標未達成 ・引き続きCO2削減に努める。
一般廃棄物量の 削減	一般廃棄物の排出量削減 ・両面コピーの推進 ・裏紙の使用 ・一般廃棄物分別を実施	k g	119	120	×	・概算での計上であるため、次年度 からは計量等を行い、精度を高めて 対処していく。
産業廃棄物の 削減	産業廃棄物の排出量削減	k g	1,245	566.81	○	目標達成 ・次年度も引き続き、適正管理に努 める
水使用量の削減		m ³	327	299	○	目標達成 ・次年度も引き続き、節水に努める。
化学物質使用量の 適正管理	該当なし		該当なし			
地域貢献活動	清掃活動等	回	1	1	○	目標達成 ・引き続き定期的に行う。

総括

化学物質使用量については使用がないため目標管理としていない。

エコアクション21に取り組み、少しずつ環境への取り組みが定着してきている。

今回は3月から5月という3か月のトライアル期間のため目標・達成の評価という点においては一部正確性に欠けると思われるが、今後目標値の再設定を視野に検討する。

環境経営計画と実施状況の評価及び次年度の取組み

【評価】 既に取り組んでいる活動には“○”、さらに取組が必要は活動には“△”、取り組んでいない活動には“×”

項目	責任者	環境活動実施項目	評価	次年度の取組み
二酸化炭素排出量の削減	現場部門責任者	エコドライブ10 定期点検の実施 公共交通機関を利用して社用車の利用を控える タイヤの空気圧の定期的確認 ハイブリッド車や電気自動車の導入	○ ○ ○ ○ △	継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施
		エコドライブ10 定期点検の実施 タイヤの空気圧の定期的確認 ドライブレコーダーの導入促進 低燃費車、低排出車の導入	○ ○ ○ △ △	継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施
	事務部門責任者	空調の適温化 パソコン等のOA機器は省電力設定 LED照明の採用 照明器具に個別スイッチを取り付ける クールビズ、ウォームビズを心がける ブラインドによる遮熱 不在時の消灯の徹底	○ ○ △ △ ○ ○ ○	継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施
廃棄物の削減	事務部門責任者	裏紙使用 廃棄物の分別徹底	○ ○	継続実施 継続実施
	現場部門責任者	リサイクルの徹底 マニフェストによる適正管理	△ △	継続実施 継続実施
未使用量の削減	現場部門責任者	節水の徹底	○	継続実施
化学物質の適正管理	事務部門責任者			
環境コミュニケーション及び社会貢献	事務部門責任者	地域のボランティア活動に積極的に参加	○	継続実施

環境関連法規制等取りまとめ表（遵守評価記録）

最新状況確認日：2023/03/01			
遵守状況確認日：2023/05/31			
	最新状況 確認	遵守状況 確認	確認資料等
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）			
排出事業者	○	○	契約書、管理表
産業廃棄物管理票交付状況報告書	○	○	報告書提出
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）	-	-	該当なし
浄化槽法	○	○	保守点検、法定検査の記録
自動車NOx・PM法	○	○	適合車
使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	○	-	該当なし
家電リサイクル法	○	-	該当なし
資源有効利用促進法	○	-	該当なし
埼玉県生活環境保全条例	○	○	アイドリングストップ等

環境関連法規への違反は、過去5年間ありません。また関係機関からの違反等の指摘事項はありません。
外部からの苦情もありません。

代表者による全体の評価と見直し・指示 <トライアル期間>

実施日 2023.09.01

実施者 代表取締役

(1)全体の確認・評価

事項	報告内容	代表者の評価
(1)環境経営目標の達成状況	電気、産業廃棄物の削減においては目標値を達成。 ガソリン使用量、軽油使用量、CO2削減、一般廃棄物の削減については目標値を達成できなかった。	3カ月間という短期間での評価の為、今後1年間の動きを見て目標値の設定を見直しを含め検討して下さい。
(2)環境経営計画の実施及び運用結果	取組の自己チェック表からの拾い出しをして計画を立てたが、今後も引き続きできるところから実施していきます。	引き続き、環境活動計画に則り実施して下さい。
(3)環境関連法規のなどの遵守状況	浄化槽の法定検査を実施した。	法律の改正状況には注意して、法遵守の徹底を図って下さい。
(4)外部からの苦情や要望	苦情はありませんでした。	今後も引き続き、騒音等に注意して対応して下さい。
(5) 前回の指示事項への取組結果	なし	—
(6) その他	特になし	—

(2)代表者による環境方針等の変更の必要性ならびに指示事項

項目	変更要否	指示事項等
1. 環境経営方針	変更の必要なし	—
2. 環境経営目標	変更の必要なし	—
3. 環境経営活動	変更の必要なし	—
4. 実施体制	変更の必要なし	—
5. その他	特になし	—